

令和8年3月25日

市政記者各位

福岡市美術館

2026（令和8）年度の展覧会ラインアップを公開しました

福岡市美術館の2026年度の展覧会ラインアップを公開しましたので、お知らせします。2026年度も充実したラインアップとなっております。

つきましては、広報にご協力いただきたく、よろしくお願いいたします。

特別展

小磯良平展 —幻の名作《日本髪 of 娘》

会期	令和8年4月18日（土）-6月21日（日）
会場	2階 特別展示室

近代洋画の巨匠・小磯良平（1903-1988）は、古典的な美しさをたたえた人物画を数多く手がけました。本展は、小磯による“幻の名作”である《日本髪 of 娘》（韓国国立中央博物館所蔵）とともに100点を超える小磯作品を展示し、彼の人物表現の魅力をお楽しみいただきます。



小磯良平《日本髪 of 娘》1935年 韓国国立中央博物館所蔵

特別展

トーベとムーミン展 ～とっておきのものを探しに～

会期	令和8年7月4日（土）-8月30日（日）
会場	2階 特別展示室

「ムーミン」の生みの親で、絵画、風刺画、漫画、絵本、小説など多方面に才能を発揮したアーティスト、トーベ・ヤンソン（1914-2001）。初期の油彩画から、第二次世界大戦期の風刺画、「ムーミン」小説やコミックの原画、スケッチなど約300点の作品を通して、トーベの人生と創作世界を振り返ります。



特別展

カルン・タカール・コレクション
インド更紗 世界をめぐる物語

会期	令和8年10月17日（土）－12月20日（日）
会場	2階 特別展示室

茜や藍などの染料と、媒染剤や防染剤を用いて、木綿という染色の難しい素材に堅牢な染めを施す技術は数千年の昔にインドで生まれました。鮮やかな色彩で大胆かつ精緻な文様が染め上げられた木綿布は、日本では「更紗」、英語では「チンツ」と呼ばれ、世界を席卷しました。本展では、インド更紗が世界的な商品となって数百年という時の流れで変化していく姿を、ロンドン在住のカルン・タカール氏のコレクションの名品でたどります。インド更紗がヨーロッパ、東南アジア、そして日本へともたらされることで、世界の人々が美意識を共有し、さらに各地で創造性を発揮していくさまを、本展に出品される更紗の数々でご堪能ください。



《白地人物草花文様更紗儀礼用布》17－18世紀
カルン・タカール・コレクション、ロンドン

企画展

企画展×福岡現代作家ファイル2026
山内光枝展 潮ノ記

会期	令和8年9月8日（火）－12月20日（日）
会場	2階 近現代美術室B

福岡を拠点に、海に生きる人の生活や文化に焦点を当てた作品を制作している山内光枝(1982-)の個展。様々な表現方法によって海女の姿を見つめ、海と人との関係をとらえてきた作品をご紹介します。



山内光枝《つれ潮》2018年

企画展

カンボジアの染織

会期	令和8年12月2日（水）－令和9年2月7日（日）
会場	1階 古美術企画展示室

カンボジアは石造建築や彫刻だけでなく、染織の分野においても素晴らしい伝統があり、特に、絹の緯緋は絵画的な表現を可能にするほどの繊細巧緻な技術で世界的に知られています。当館のコレクションを中心に緯緋や紋織、絞などの名品を展示します。



《龍動物文様緯緋儀礼用布》（部分）カンボジア 19－20世紀

コレクション展・教育普及プログラム

美術館ウェブサイトに年間スケジュールを公開しました。下記 URL から 3 月 2 5 日よりご覧いただけます。

<http://fukuoka-art-museum.medialab.co.jp/assets/pdf/fukuokaartmuseum2026.pdf>

共通	開館時間	午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分 (7 月～10 月の金・土曜日は午前 9 時 30 分～午後 8 時) ※入館は閉館の 30 分前まで
	休館日	毎週月曜日、年末年始(12 月 28 日～1 月 4 日) ※月曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日 ※展示替えに伴う休室・臨時休館日や臨時開館日につきましては、 美術館ウェブサイトのお知らせにてご案内いたします。
	観覧料	<コレクション展・企画展>一般 200 円、高大生 150 円、中学生以下無料 <特別展>各展示会による

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館学芸課 (担当: 岩永、ラワンチャイクン、忠、花田)
TEL: 092-714-6051